

# 植物友の会活動記録

平成 20 年 3 月現在、会員数は個人会員が 204 人、家族会員が 46 組 113 人、企業等の賛助会員が 13 団体である。

齊藤淳

## はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的として、昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、法人の賛助会員が年額 5,000 円となっている。10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて（賛助会員は除く）、今年度 10 月以降の入会は 6 人の申込があった。

## 活動（表 1、2、3）

### (1) 例会・運営委員会

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催され、植物についてのビデオ、スライドや栽培講習、園内の案内、種苗交換などを実施した。前年度から新たに一部の例会で、園内の見所をコース分けして案内する企画を実施している。この企画は大変好評ではあるが、案内を行なうガイド（会員）が少ないので、通常のガイドボランティアにもお願いした。

また、例会の事前調整が必要なことから、例会前に運営委員で打ち合わせを行い、例会後も、運営委

表 1. 行事の開催

月 日	事務事業	場 所	内 容	備 考
平成 19 年 4 月 19 日 (木)	観察会	庄原市東城町 上帝釈	上帝釈の植物 講師：広島大学大学院准教授 山口富美夫氏	会員 38 名 職員 2 名
5 月 18 日 (金) 9 時 30 分～12 時	山草部会 展示準備	展示資料館ロビー	山草部会展示物搬入	部会員 10 名 職員 1 名
5 月 19 日 (土)～ 20 日 (日)	山草部会 展示	展示資料館ロビー	山草部会展示	部会員 10 名 77 点出品
5 月 20 日 (日) 13 時 20 分～ 15 時 45 分	例会①	植物公園講堂	講演会「危機を憂う日本の野生ラン」 講師：植物写真家 神園英彦氏	会員 89 名 職員 3 名
7 月 7 日 (土) 10 時～12 時 13 時～15 時	特別講習会	植物公園講堂 及び屋外	写真教室 講師：フォトグラファー 新田英樹氏	会員 19 名 職員 1 名
7 月 8 日 (日) 13 時 20 分～ 15 時 15 分	例会②	植物公園講堂 及び屋外	園内植物観察 (樹木、ロックガーデン、アジサイ、温室コース)	会員 69 名 職員 2 名
8 月 25 日 (土) 10 時～12 時 13 時～15 時	講習会①	植物公園講堂	クラフト作り 講師：会員 藤井かおり氏	会員 8 名
9 月 3 日 (月)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入	会員 23 名 職員 1 名
9 月 4 日 (火)～ 9 月 9 日 (日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展	展示監視 12 名 会員 23 名 200 点出品
9 月 9 日 (日) 13 時 20 分～15 時	例会③	植物公園講堂及び 大温室	研究発表「スイレンの葉の不思議な運動」 報告者：技師 濱谷修一 秋の園芸作業	会員 81 名 職員 3 名
9 月 22 日 (土)	観察会	庄原市比和町 吾妻山	吾妻山の植物 講師：広島大学大学院准教授 中坪孝之氏	会員 44 名 職員 2 名
10 月 28 日 (日) 11 月 3 日 (土)	講習会ボラ ンティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア (クラフト教室、ハーブの香り 袋作り教室)	指導：会員 4 名 一般参加者 92 名 指導：会員 9 名 一般参加者 75 名
11 月 11 日 (日) 13 時 20 分～ 15 時 15 分	例会④	植物公園講堂 及び屋外	園内植物観察 (樹木、花の進化園・ロックガーデン、温室コース)	会員 77 名 職員 3 名
平成 20 年 1 月 13 日 (日) 13 時 20 分～15 時	例会⑤	植物公園講堂及び ペゴニア温室	海外植物調査発表「イギリス海外調査に参加して」 報告者：技師 尾崎健司 冬の園芸作業	会員 62 名 職員 5 名
3 月 9 日 (日) 13 時 20 分～15 時	例会⑥	植物公園講堂、屋 外及びペゴニア温室	総会 春の園芸作業及び園内植物観察	会員 88 名 職員 4 名

表 2. 会誌「はなの輪」の発行

平成 19 年 5 月	2007 年 通巻第 111 号	平成 19 年 8 月	2007 年 通巻第 112 号
平成 19 年 10 月	2007 年 通巻第 113 号	平成 20 年 2 月	2008 年 通巻第 114 号

表3. ボランティア活動報告（平成19年4月～12月）

月 日	内 容	参加人数	月 日	内 容	参加人数
4月3日	モザイカルチャー管理	3名	9月9日	クラフト準備	1名
4月4日	さくらまつりの準備	1名	9月11日	モザイカルチャー管理	9名
4月7日	活動紹介、物品販売	6名	9月15日	クラフト準備	1名
4月8日	[さくらまつり]	5名	9月15日	夜間開園キャンドル点火	2名
4月26日	モザイカルチャー管理	5名	9月20日	アジサイの管理	1名
その他4月分（除草、植え替え、モザイカルチャー管理等）		30名	9月24日	クラフト準備	1名
5月4日	活動紹介、物品販売 [みどりの日・植物園の日]	5名	9月27日	モザイカルチャー管理	9名
5月9日	はなの輪、例会案内通知発送	2名	その他9月分（除草、植え替え、モザイカルチャー管理等）		20名
5月16日	友の会花壇	1名	10月4日	秋のグリーンフェアの準備	2名
その他5月分（除草、植え替え、アジサイ管理、モザイカルチャー管理等）		32名	10月10日	クラフト準備	2名
6月5日	モザイカルチャー管理	7名	10月17日		1名
6月13日		4名	10月22日	秋のグリーンフェアの準備	1名
6月17日	友の会花壇	1名	10月25日	モザイカルチャー管理	4名
6月20日		2名	10月26日	秋のグリーンフェアの準備	3名
6月25日	例会、講習会等案内通知発送	2名	10月27日		2名
6月20日	モザイカルチャー管理	4名	10月28日	秋のグリーンフェアの手伝い	8名
その他6月分（除草、植え替え、アジサイ管理、モザイカルチャー管理等）		24名	10月31日	はなの輪、例会案内通知発送	3名
7月3日	モザイカルチャー管理	4名	その他10月分（除草、植え替え、アジサイ管理、モザイカルチャー管理等）		31名
7月4日	講習会の準備	1人	11月3日	秋のグリーンフェアの手伝い	9名
7月5日	アジサイの管理	1名	11月4日		2名
7月8日	講習会の準備	1名	11月17日	友の会臨時売店	1名
7月17日	モザイカルチャー管理	3名	11月18日		3名
7月30日	アジサイの管理	1名	11月20日	モザイカルチャー管理	7名
その他7月分（除草、植え替え、モザイカルチャー管理等）		15名	11月24日	友の会臨時売店	2名
8月7日	モザイカルチャー管理	2名	11月25日		1名
8月13日	アジサイの管理	1名	11月25日	チューリップの植え付け	4名
8月25日	夜間開園キャンドル点火	3名	その他11月分（除草、植え替え、アジサイ管理、モザイカルチャー管理等）		19名
8月26日	友の会講習会	1名	12月4日	夜間開園の準備	4名
8月28日	はなの輪、例会等案内通知発送	4名	12月8日	夜間開園キャンドル点火	2名
その他8月分（除草、植え替え、モザイカルチャー管理等）		17名	12月20日	友の会花壇	3名
9月1日	夜間開園キャンドル点火	3名	12月20日	例会案内通知発送	1名
9月3日	友の会作品展準備	3名	12月23日	夜間開園キャンドル点火	2名
9月8日	クラフト準備	1名	その他12月分（除草、植え替え、モザイカルチャー管理等）		25名
9月8日	夜間開園キャンドル点火	1名	計		382名

員会（委員8人）を開き、事業の執行計画や予算などについて毎回話し合った。

#### (2) 講習会

年1回。会員の藤井かおり氏を講師として木の実のクラフト作りを実施した（写真1）。また、当初の計画にはなかったが、初めて今年度写真教室を開催した（写真2）。

#### (3) 観察会

年2回春と秋に、日帰りを実施。近郊の野山に出

かけ、野生の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図った。平成19年度は、春に庄原市東城町の上帝釈へ、秋には庄原市比和町の吾妻山へ出かけた。講師は、それぞれ広島大学大学院准教授の山口富美夫氏と中坪孝之氏にお願いした（写真3）。

#### (4) 展示会

年1回秋に、鉢物、写真、絵、クラフトなどを出品し、植物友の会作品展として開催している。平成



写真 1. クラフト作り教室 (平成 19 年 8 月 25 日)



写真 2. 写真教室 (平成 19 年 7 月 7 日)



写真 3. 秋の野外観察会 (吾妻山、平成 19 年 9 月 22 日)



写真 4. 友の会山草部会展示 (平成 19 年 5 月 19 日)



写真 5. 秋のグリーンフェア・友の会コーナー

19 年度は約 200 点の出品があった。また、5 月には、山草部会が鉢物を中心にロビー展を開いた(写真 4)。

#### (5) 園内ボランティア

植物公園において、表 3 のとおり、植物の栽培管理(植栽、除草など)、教室・講習会の指導、公園まつりの準備・販売・会誌の発送作業などを実施、幅広く活動されている。特に、さくらまつりや秋のグリーンフェアには毎回参加し、花炭・絵ハガキなどの販売や、葉拓画・ハーブの香り袋作り教室の指導をし、また、毎月第 1・3 火曜日、第 2・4 木曜日は定期的な作業日としている。繁忙時には臨時的に作

業の募集を行っている。延べ人数は、平成 15 年に 140 名、平成 16 年に 223 名、平成 17 年に 312 名、平成 18 年に 394 名、平成 19 年度に 382 名。ボランティア活動への理解が得られ、最近は人数、回数が増えている(表 3、写真 5)。

#### (6) 会誌の発行

植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年 4 回発行、会員に配布している(表 2)。

#### (7) 部会

山歩クラブと山草部会がある。

前者は、毎月 1 回例会として近郊の山に出かけ、年 1 回県外遠征、総会、懇親会を行い、年 4 回の会報を発行している。会費は年額 3,000 円である。後者は、年 2 回野外観察会や展示会、2 ヶ月に 1 回例会を開いている。会費は年額 1,000 円である。

#### (8) 友の会花壇

園芸作業の講習を実際に体験でき、会員相互の交流が進み、友の会が魅力ある組織となっていくことを目的として、展示資料館横の花壇を平成 17 年度から友の会が管理することとなり、運営委員会が中心となって計画を策定した。平成 19 年度は、通年でギボウシ、ベルゲニア、スイセン、リコリス、ク

リスマスローズ、ハイシマカンギク、ナカガワノギク、レモンマリーゴールド、ヒルザキツキミソウ、カンアヤメ、ハクチョウソウを栽培した。春にはダンギク、ジャノヒゲを植栽した。また、5月まではパンジーも栽培した。しかし、相変わらず植え替えなどの作業を手伝ってくれる会員が少なく、今後はいかに多くの会員に関心を持ってもらい、作業に参加し、苗の提供などを行ってもらうかを考える必要がある。

### 主な課題と今後の方向

(1) 入会して間もない人の退会が依然として多く、新規の会員の獲得に努めたが、本年度は前年度と比較して会員数の減少傾向が続いている。今後は、会員のニーズに合った新しい様々な企画の立ち上げ、また会員の意識の変化にも対応した仕掛けなどによって、会員の満足度を上げ、会員の増加を図らなくてはならない。また、引き続き広島県西部だけで

なく、東部方面にも広報を行い、新規会員の獲得を目指す。今後の新規会員獲得の試みとしては、

①部会を立ち上げ(写真部等)、会員の活動、懇親の場を広げ会員のニーズにあった企画の充実に努める。

②例会等の行事や管理ボランティア時に無料でできるサービスや参加しやすい行事を充実する。

などを実施し、大きなイベント(グリーンフェアなど)でPRする場を設ける。

(2) 収入源の補完として、

①例会時に行う苗等の販売の強化など。

②会員による花壇苗の増殖と提供(花壇苗購入金額の削減)

③会誌の内容や印刷経費の見直し

④支援団体からの助成金の獲得

(3) 会員の自主的運営を推進する。

などを実行していく必要がある。



## 種子交換業務について

富澤まり

社団法人日本植物園協会の拠点園保全技術研修(2007年10月10日、広島市植物公園にて開催)にて、当園で行っている種子交換業務について説明を行った。日本国内で海外の植物園と種子交換をしている園は数園であり、当園は開園当時(1976年、30年前)から交換業務を積極的に行っている。

研修会では、シードリストに種子の由来や自生地を記載すること、絶滅危惧植物等観賞価値以外の観点からの収集を拡げる事などが提案された。

平成19年度より種子採集時のGPSの活用を進めている。今後も本業務について、効率化を図りつつ、有意義な業務となるよう推し進めていく予定である。

### 種子交換業務の目的

本園と外国の植物園等が相互に種子の交換分譲を行い、自国で入手困難な種子の導入を図ることにより、幅広い植物収集を行うものである。

### 2006年度実績

種子目録送付先 32か国 173ヶ所  
交換用種子(発送した種類) 204種類  
種子目録送付時期 2006年12月末  
注文締切 2007年2月28日  
種子分譲(発送) 2007年9月

### 希望が多かった種(かっこ内は種子を発送した園数)

2006年

ツガ(8)、オトコヨウゾメ、オニバス(7)、カヤ、マムシグサ(6)、ウリカエデ、キヅタ、オオバヤシャブシ、ナカガワノギク、ハンカイソウ、ヤマグルマ、ハスノハカズラ(5)

2005年

アオテンナンショウ(17)、マタタビ(15)、マムシグサ、ウスゲクロモジ(13)、コブシ、ハイイヌガヤ(12)、ヒトツバカエデ、イヌツゲ(11)

2004年

トキワガキ、マムシグサ(12)、ヤマジノホトトギス、ハイイヌガヤ、リュウキュウマメガキ(11) レモンエゴマ、キンミズヒキ、オオズミ(オオウラジロキ)、ヒメサユリ(10)